

eBASE株式会社

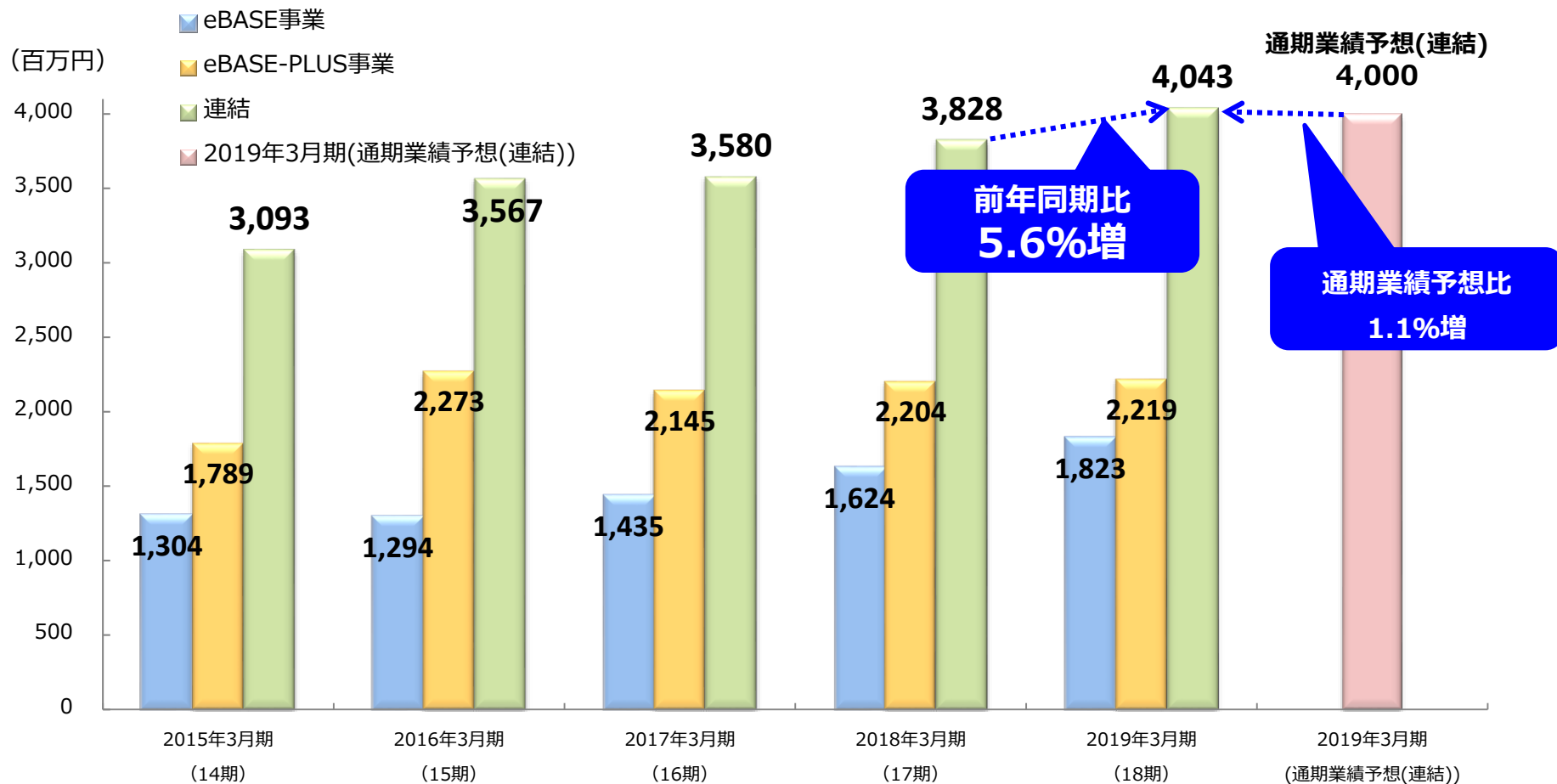
2019年3月期 決算と事業報告

2020年5月21日改訂
※P13～P16の業界別売上集計を訂正致しました。

会社概要

- 会社名： eBASE株式会社 （東証第一部/証券コード：3835）
- 設 立： 2001年10月
- 資本金： 190百万円
- 本社所在地：大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル
- 理 念：
貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし
社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。
利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。
結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。
- 事業内容：コンテンツマネジメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守
- グループ会社：
eBASE-NeXT株式会社：「eBASE」のクラウドサービスの運用
eBASE-PLUS株式会社：「eBASE」の受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守
IT開発アウトソーシングビジネス
- グループ総従業員数： 448名（456名/役職員含む；前年比9名増）（2019年4月現在）

通期決算 連結売上高の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

通期決算 連結経常利益の推移

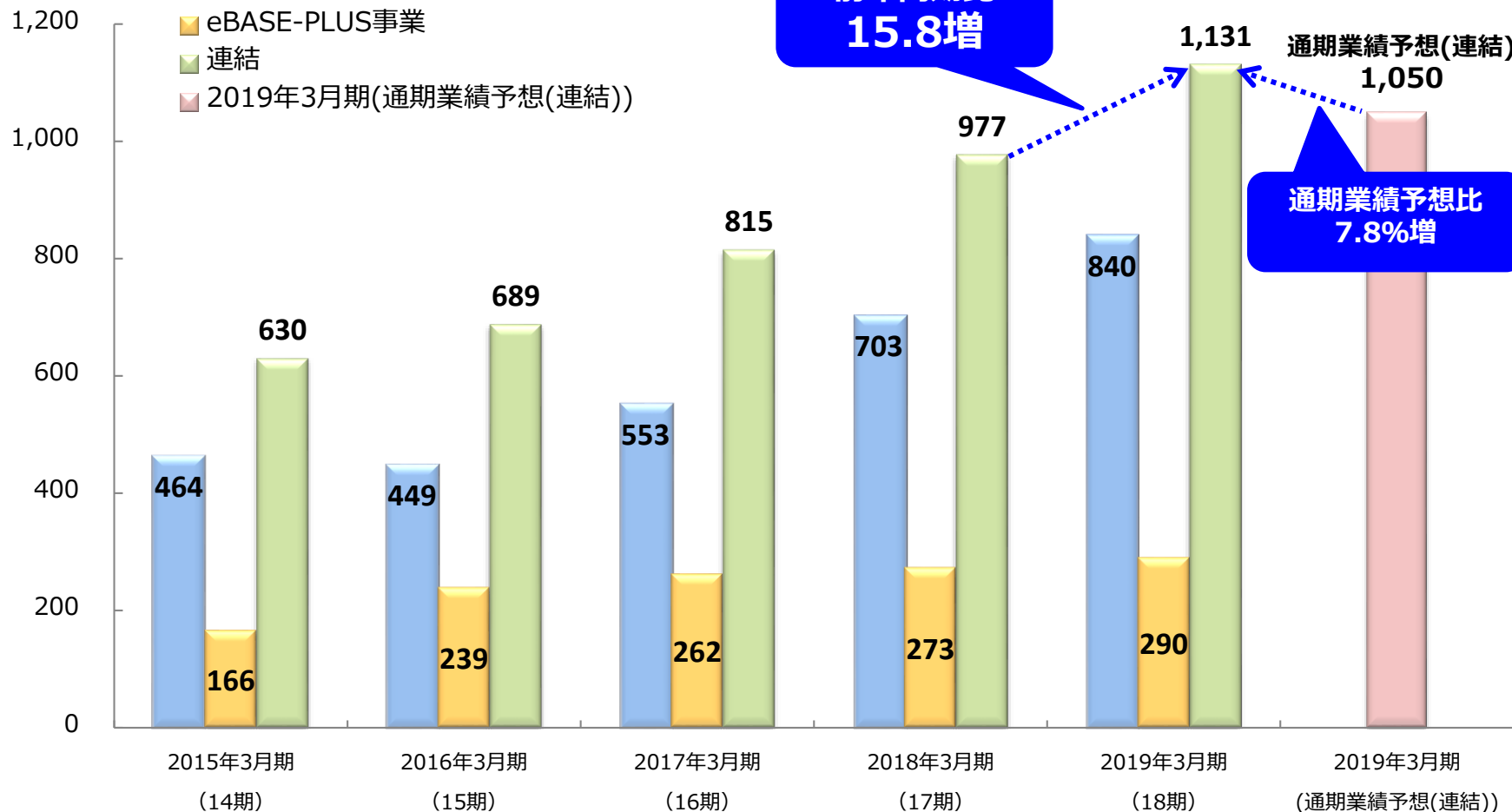
(百万円)

■ eBASE事業

■ eBASE-PLUS事業

■ 連結

■ 2019年3月期(通期業績予想(連結))



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

通期決算 連結業績・連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

	2015年3月期 (第14期)	2016年3月期 (第15期)	2017年3月期 (第16期)	2018年3月期 (第17期)	2019年3月期 (第18期)
売 上 高 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	3,094 (1,304) (1,789) (△0)	3,567 (1,294) (2,274) (△1)	3,580 (1,435) (2,147) (△2)	3,828 (1,625) (2,209) (△6)	4,043 (1,823) (2,231) (△12)
営業利益	621	697	828	958	1,099
経常利益 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	630 (463) (166)	689 (449) (239)	815 (553) (262)	977 (703) (273) (-)	1,131 (840) (291) (1)
親会社株主に帰属する 当期純利益	414	474	566	688	784

	前期 (2018年3月末)	当期 (2019年3月末)	前期末比	
流動資産	2,591	3,035	444	現金及び預金 + 206、受取手形及び売掛金 + 227
固定資産	1,353	1,538	184	
(有形+無形資産)	71	72	0	のれん△0
(その他)	1,281	1,465	184	投資有価証券 + 167
資産合計	3,944	4,573	629	
流動負債	424	491	67	未払法人税等 + 39
負債合計	424	491	67	
株主資本合計	3,498	4,076	577	利益剰余金 + 548 (配当金支払△235) (親会社株主に帰属する当期純利益の計上 + 784)
新株予約権	21	13	△7	
純資産合計	3,520	4,082	561	
負債・純資産合計	3,944	4,573	629	

eBASEグループ事業概要

当社グループは、eBASE事業とeBASE-PLUS事業で構成

eBASE事業

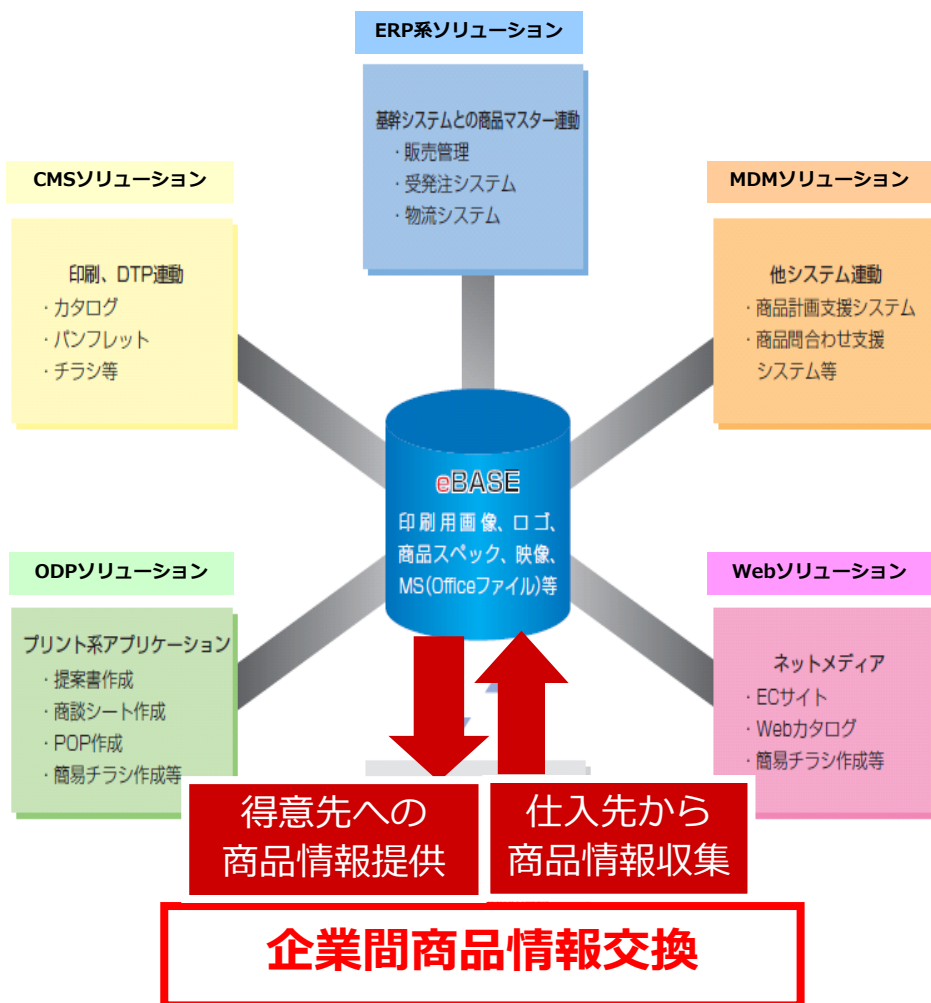
- ・ 様々な業界（食品、日雑、医薬、家電、住宅、工具業界、等）で、統合商品情報管理パッケージソフトeBASEを自社開発・販売。
- ・ オンプレミス型だけでなく、クラウドサービスも提供。
- ・ 業界別に、企業間商品情報交換の標準化を推進し、商品データプールサービス「商材えびす」を展開中。
- ・ 商品マスターデーターマネジメントシステム「eB-MDM」展開中。

eBASE-PLUS事業

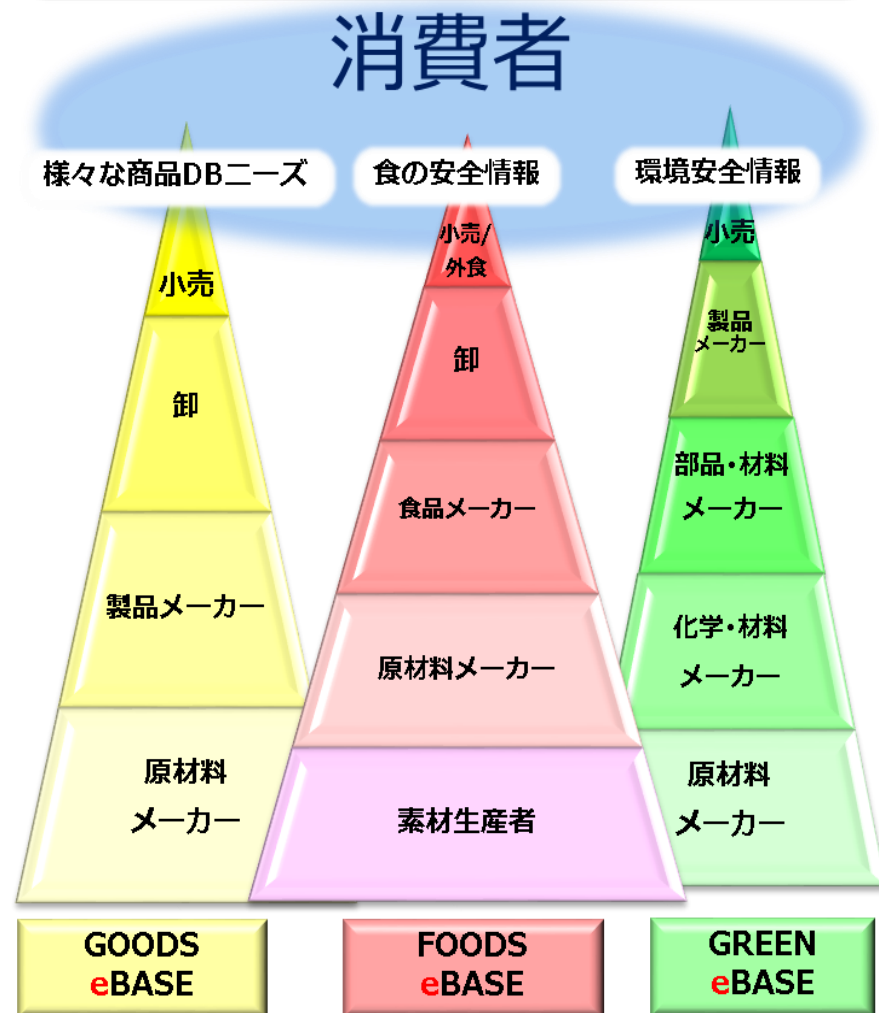
- ・ eBASE社や顧客企業からの受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守等のIT開発アウトソーシングビジネス。

eBASE事業概況

統合商品データベースeBASE概要



業界別の商品情報交換サービス概要



新しいeBASE事業概況(コンテンツビジネス)

eBASE 商品データベースサービス「商材えびす」

商品詳細情報の提供を効率化！

商品情報は随時更新中!!

商品詳細情報の収集を効率化！



他業界へ展開

< 食品業界 >

eB-foods

食料えびす
eBASE



< 日雑業界 >

eB-goods

日雑えびす
eBASE



< 文具業界 >

eB-stationery

文具えびす
eBASE



< 家電業界 >

eB-appliance

家電えびす
eBASE



< 医薬品業界 >

eB-OTCdrug
eB-medicine

OTCえびす
調剤えびす
eBASE



< 住宅業界 >

eB-housing

住宅えびす
eBASE



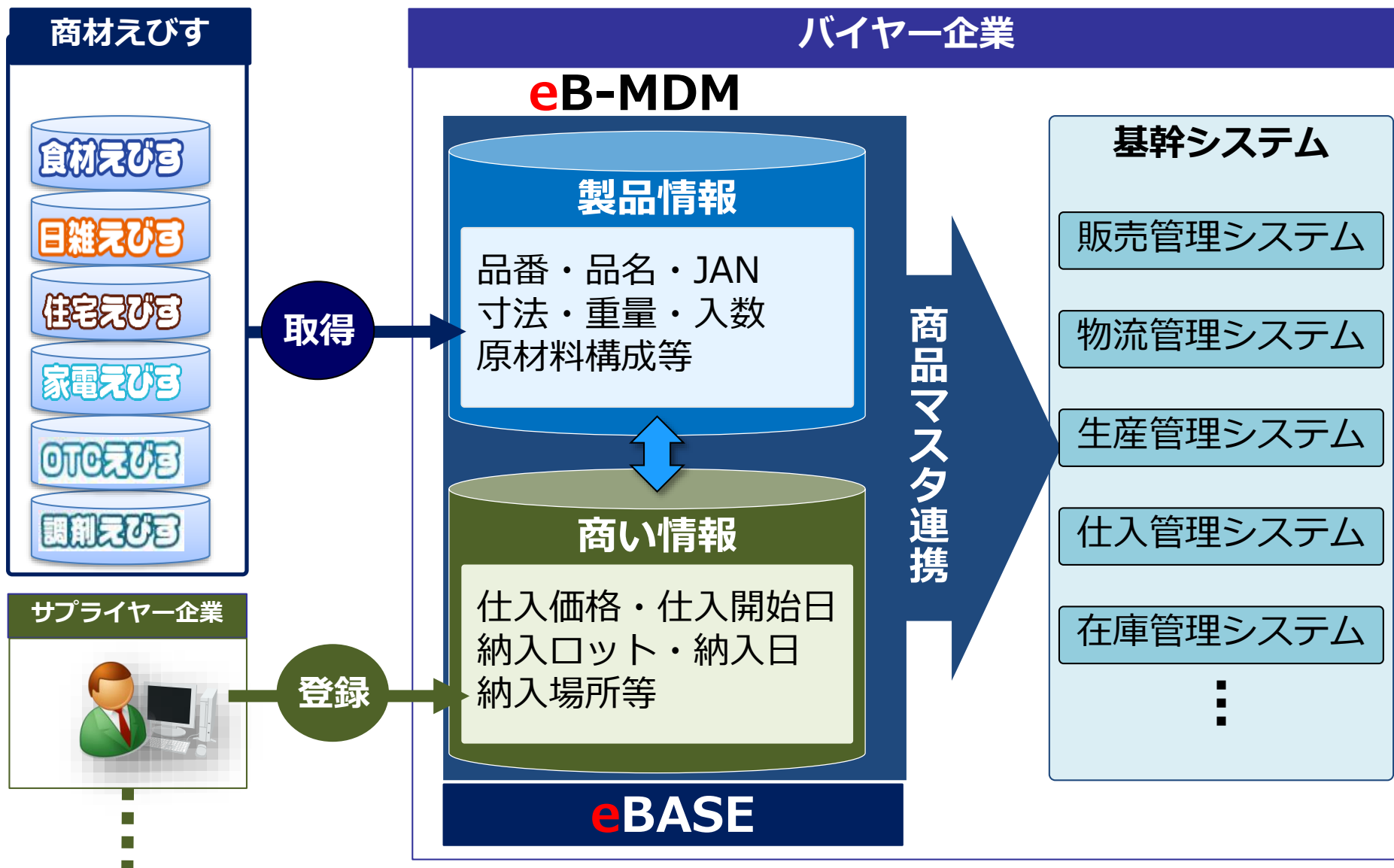
< 工具業界 >

eB-tools

eBASE



商材えびすのMasterDataManagement活用



eBASE-PLUS事業概況

eBASE-PLUS事業 IT人材アウトソーシングサービス

ITシステムソリューション



ITスペシャリストによる高品質で高付加価値なITサービスシステム、プラットフォーム、データベースなど、幅広い技術領域における構築・開発をサポートし、高品質で高付加価値なITサービスを可能にします。

インフラ構築／業務アプリケーション開発

ITマネジメント



ミッションクリティカルなシステムの安定稼働をサポート
専任スタッフによる万全の体制により、24時間・365日、メインフレーム、UNIX、Linux、PCサーバー等の運用管理を行います。
また、日々の運用管理業務における、お客様の負荷を軽減する各種アウトソーシングサービスも提供しております。

メインフレーム・各種Serverの運用管理／アウトソーシング支援

ITサポート・サービス

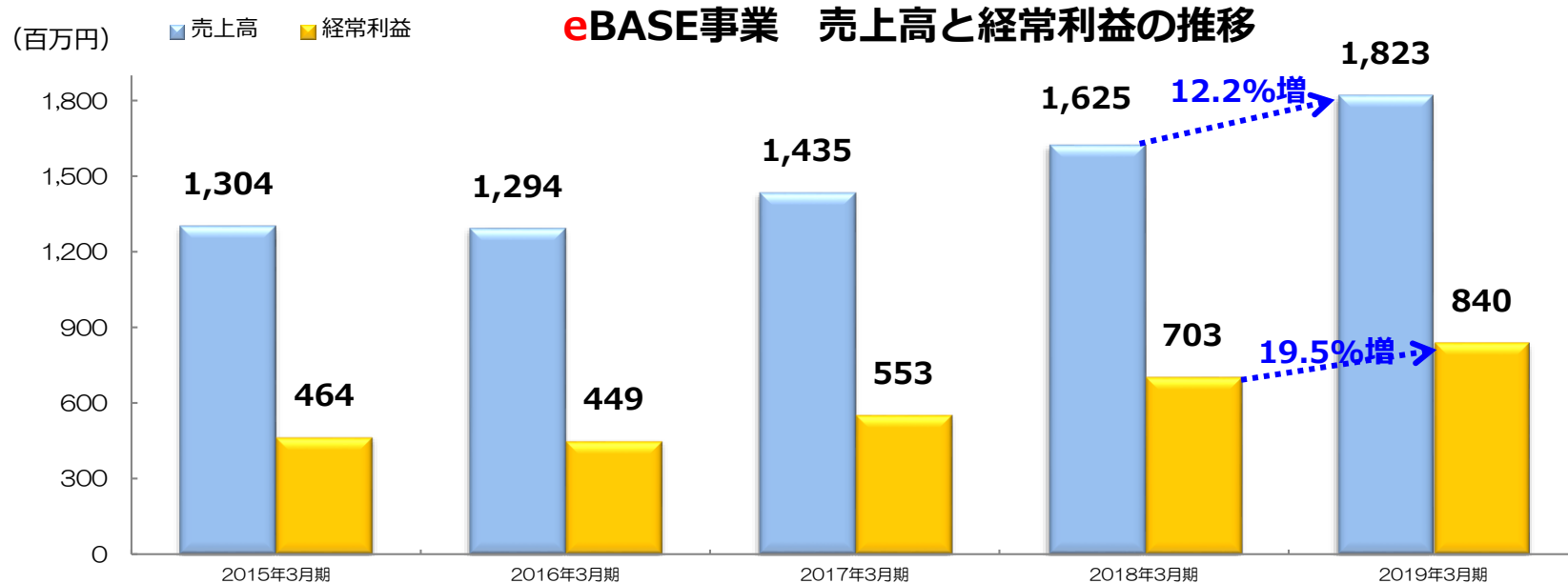


“技術力”と“サービス力”を備えたエキスパートによる安心サポート
当社のテクニカルサポートは技術力だけでなく、人間性も合わせた調和がサービスの原点と考えております。「時代の変化に対応できる社員の育成」に力を注ぎ、お客様に心から喜んで頂くために最適なサポートサービスをご提供致します。

ネットワーク・セキュリティシステム構築／統合運用管理／システム導入・展開／ヘルプデスク

通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）

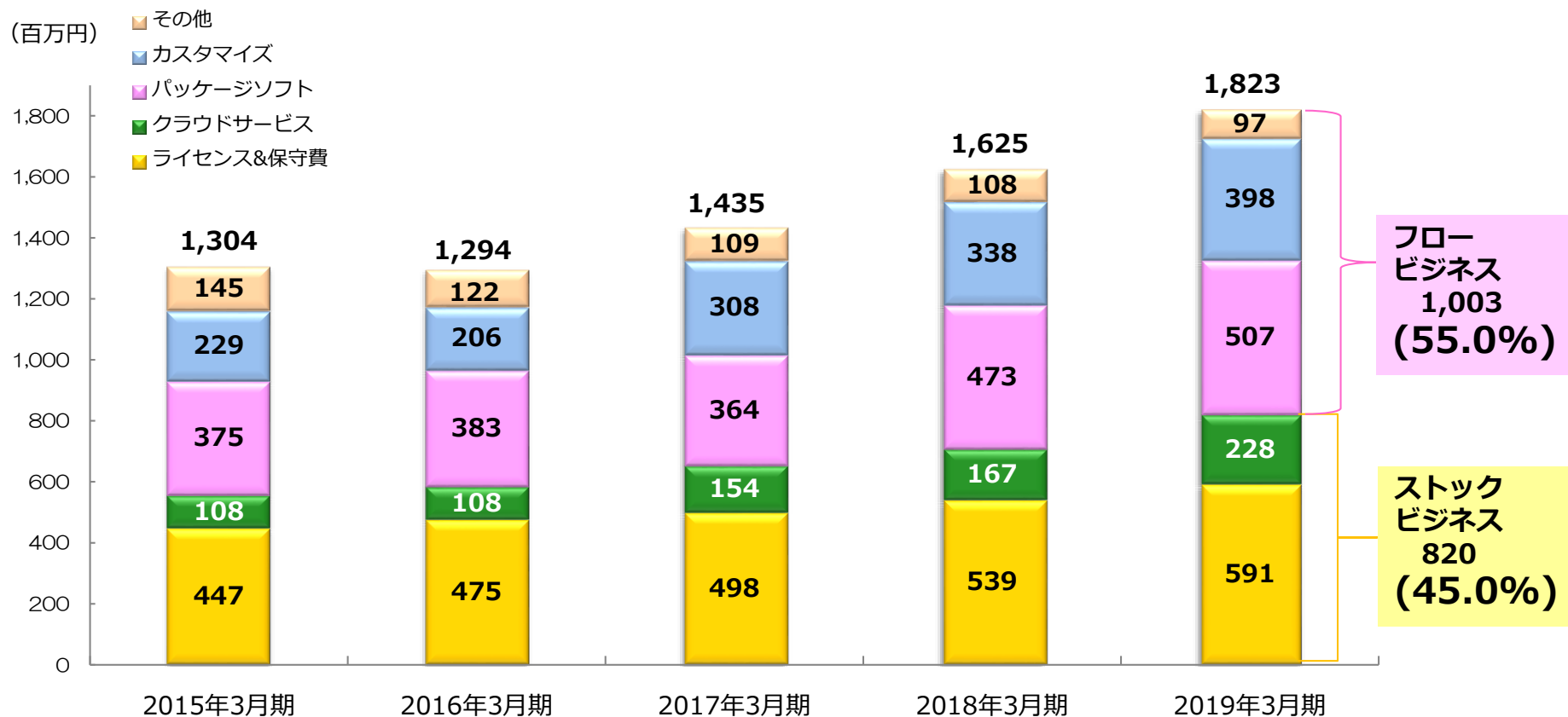


総括

- ・ 商材えびすの推進及び普及促進
- ・ 食品小売や食品メーカーへの新規・深耕営業等に注力
- ・ 商品データマネジメントシステム「eB-MDM」を展開
- ・ 2020年3月末に迫った食品表示法の経過措置期間終了等の需要
- ・ 日用品メーカーで統合商品DBの大型受注
- ・ 来期検収予定案件の前倒し
- ・ ハウスメーカーからの引き合いが増加

通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

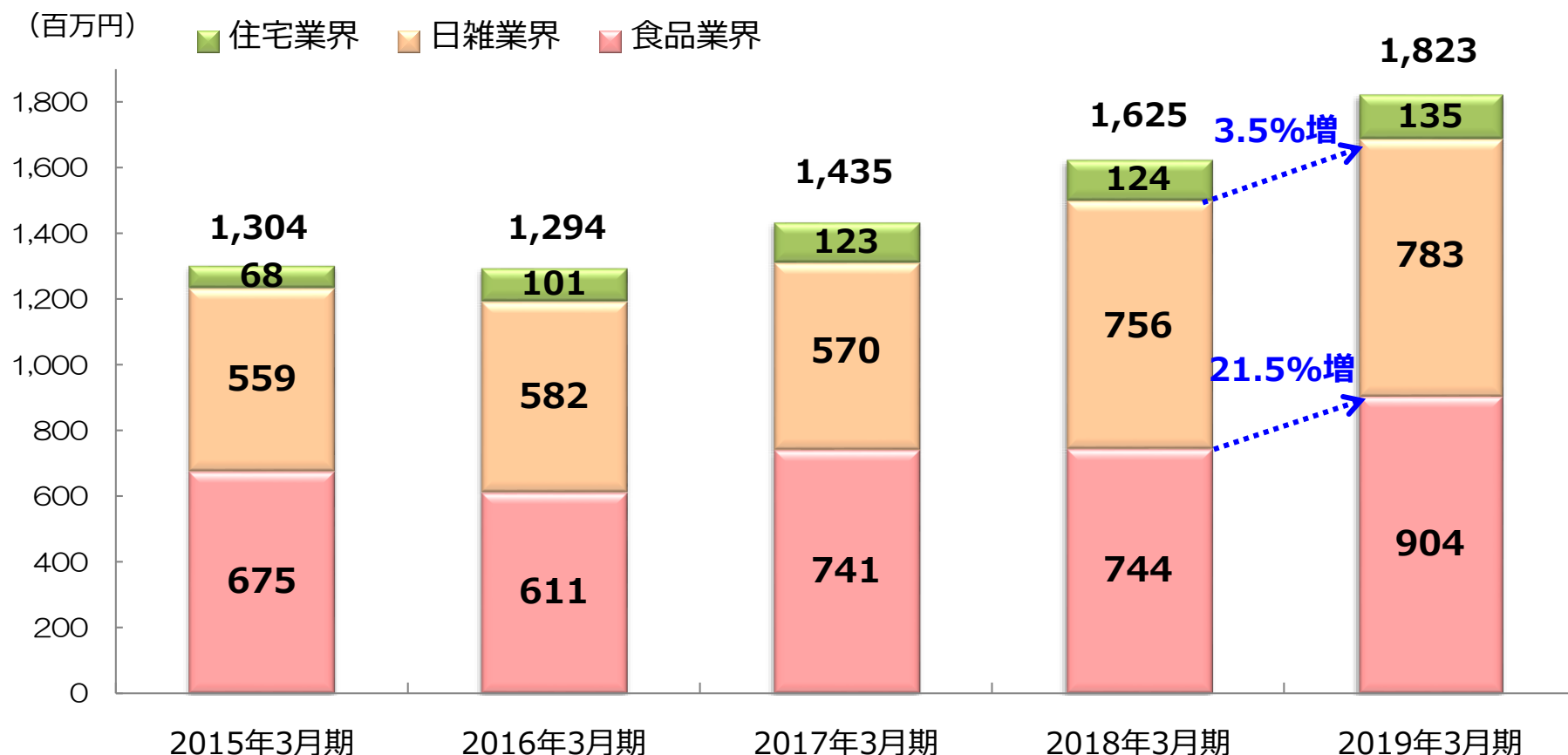
種類別販売実績の推移



注1) 種類別販売実績について、2016年3月期より一部クラウドサービスの計上方法を変更しております。また、変更に伴い2015年3月期以前の計上方法も変更したと仮定して算定しております。

通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

業界別売上実績の推移



注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。

通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

食品業界 今期施策とその進捗

2019年3月期 施策

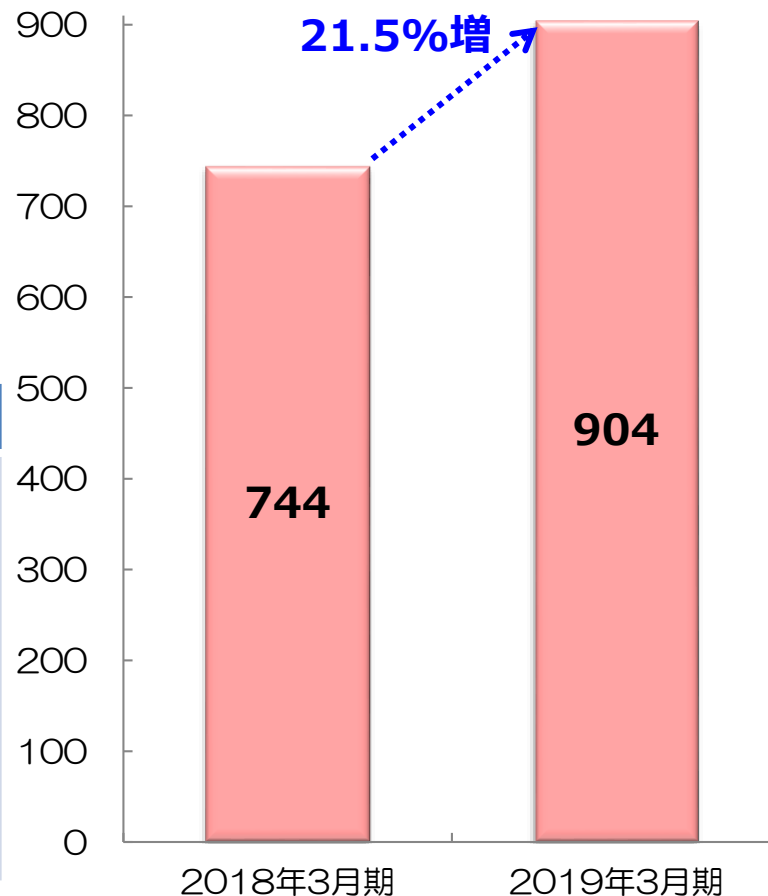
- ・ 現事業モデルの継続推進。
- ・ 商品データプールサービス「食材えびす」のデファクト化の継続推進と販促強化。
- ・ 無償「eBASEjr.」への有用機能の低額提供。
- ・ 食品小売企業の非食品系えびす運用の推進。

その進捗

- ・ 売上実績（通期）：859百万円
- ・ 「食材えびす」と連携した商品マスターデータマネジメントシステム「eB-MDM」の導入開始。
- ・ 食品表示法対応低価格クラウド型有償サービス「eBASEjr.cloud」をリリース。
- ・ 食品表示法の経過措置期間終了に伴う需要増。
- ・ 大手外食業が導入。
- ・ 非食系「商材えびす／日雑えびす」の追加導入。

食品業界 売上実績 (前年比)

(百万円)



通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

日雑業界 今期施策とその進捗

2019年3月期 施策

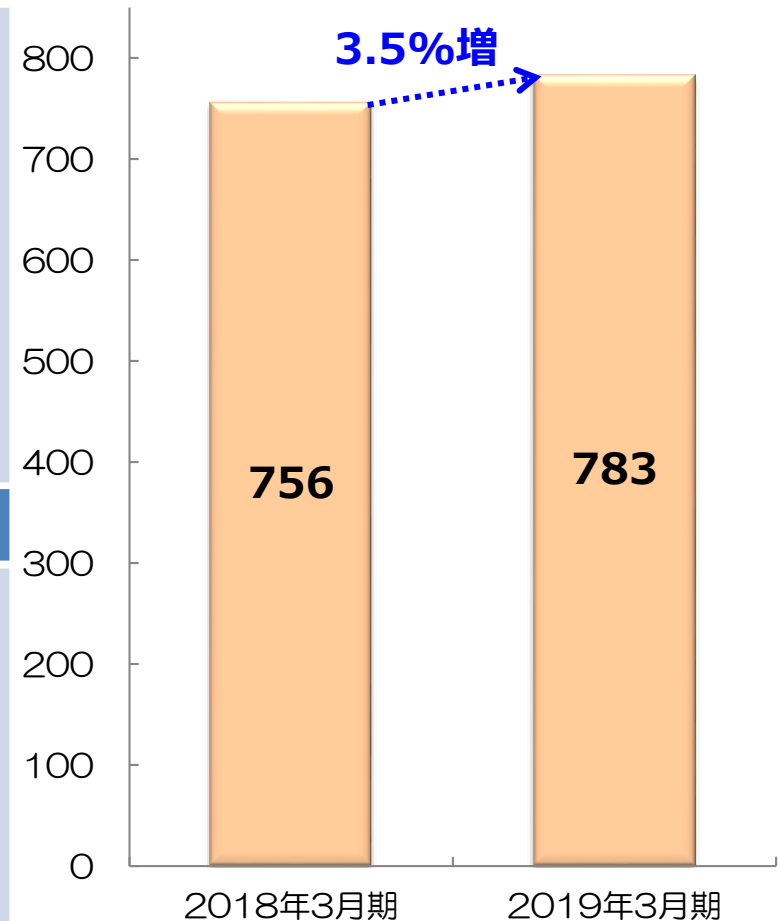
- ・日雑業界（ドラッグストア業界、ホームセンター業界、スポーツ用品業界、カー用品業界、通販業界等）における業界毎で商品情報交換環境の全体最適化を推進。
- ・商品データプールサービス「日雑えびす」、「食材えびす」、「調剤えびす」、「OTCえびす」等の販促を推進。
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進。

その進捗

- ・売上実績（通期）：816百万円
- ・「OTCえびす/調剤えびす」と複数の「商材えびす」と連携する「DRUG eBASE」の先行開発。
- ・大手ドラッグストアへの販促活動に注力。
- ・「日雑えびす」の販促に注力。
- ・複数の大手ドラッグストアにて商品マスターデータマネジメントシステム「eB-MDM」を受注。

(百万円)

日雑業界 売上実績
(前年比)



通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

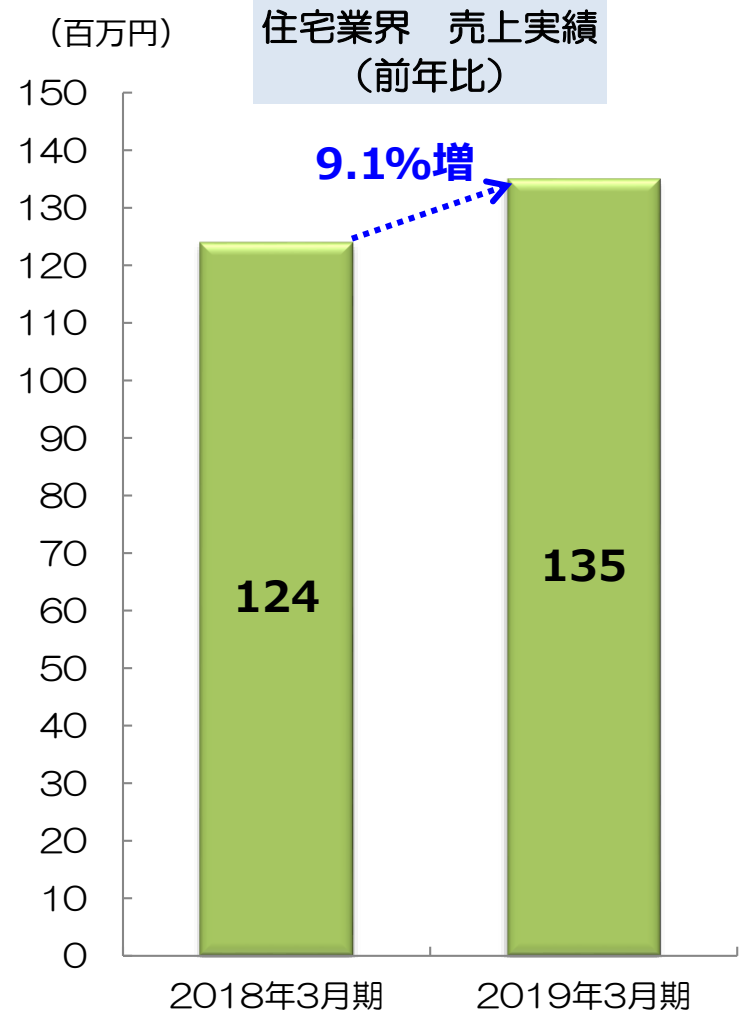
住宅業界 今期施策とその進捗

2019年3月期 施策

- ・商品データプールサービス「住宅えびす」のデファクト化推進。
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進。

その進捗

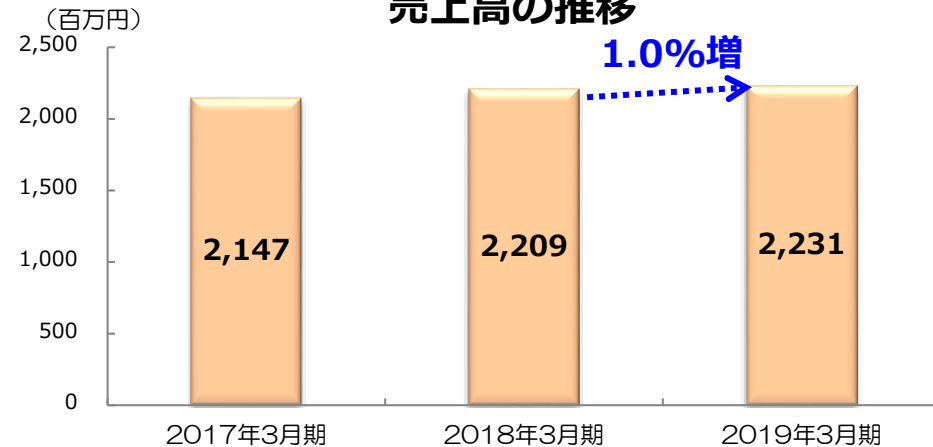
- ・売上実績（通期）：147百万円
- ・「住宅えびす」を開発リリース。
- ・eBASE活用提案に努め、統合商品情報管理システムの機能強化及び販促により前年対比で増加。
- ・「住宅えびす」が大手ハウスメーカーで順調に運用が開始し、他ハウスメーカーからの引き合いが増加。



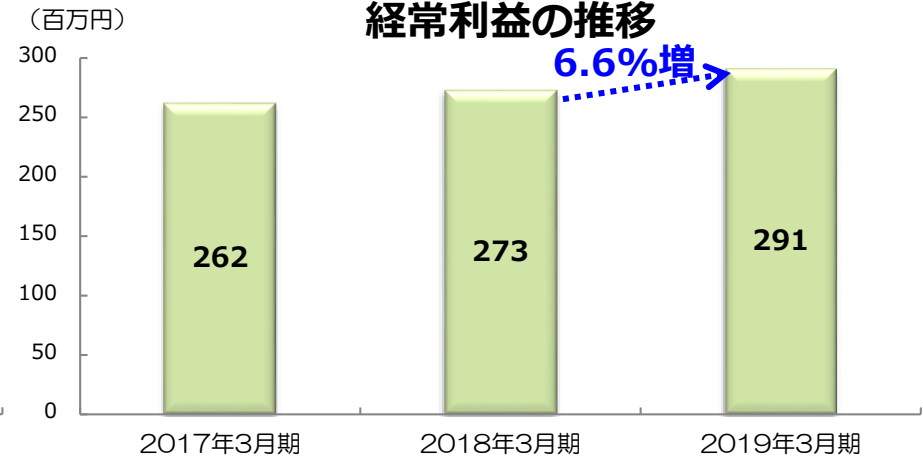
通期決算セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）

売上高の推移



経常利益の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

総括

2019年3月期 施策

- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持。
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討。
- ・ eBASEビジネスとの連携。
- ・ 人材の新規採用の継続及び育成。
- ・ 優良M&A案件の推進。

その進捗

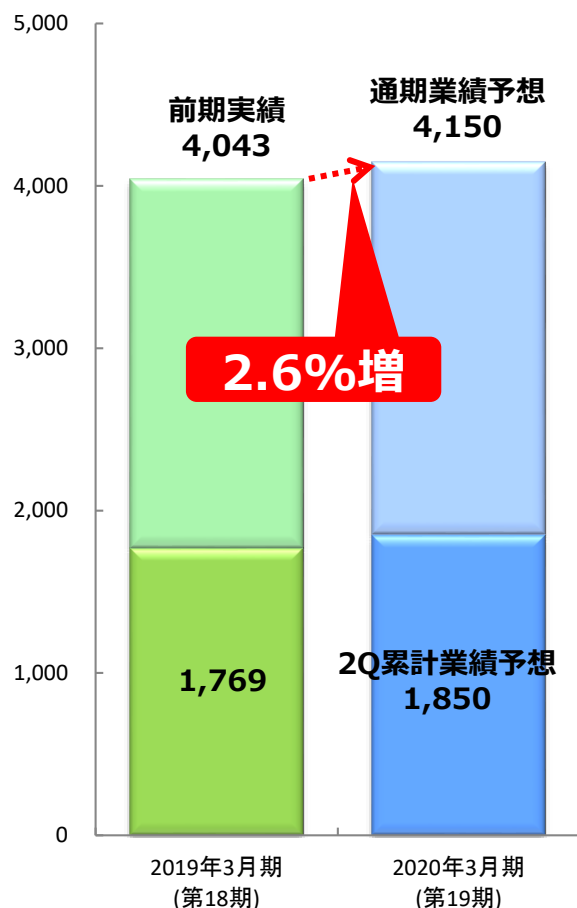
- ・ 売上実績（通期）：2,231百万円
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力。
- ・ 即戦力となる中途採用を推進し人材の確保・育成に努める。
- ・ 前年比で新卒人員採用増加に伴うコスト増、運用オペレータからシステムエンジニア登用時における一過性の売上ロスに加え、退職により全体稼働工数は減少。
- ・ 顧客との単価交渉を継続実施したことで、1人あたりの収益性がアップ。

次期（2020年3月期）の連結業績予想

- 2020年3月期（通期業績予想数値）
- 2020年3月期（2Q累計業績予想数値）
- 2019年3月期（通期実績）
- 2019年3月期（2Q累計実績）

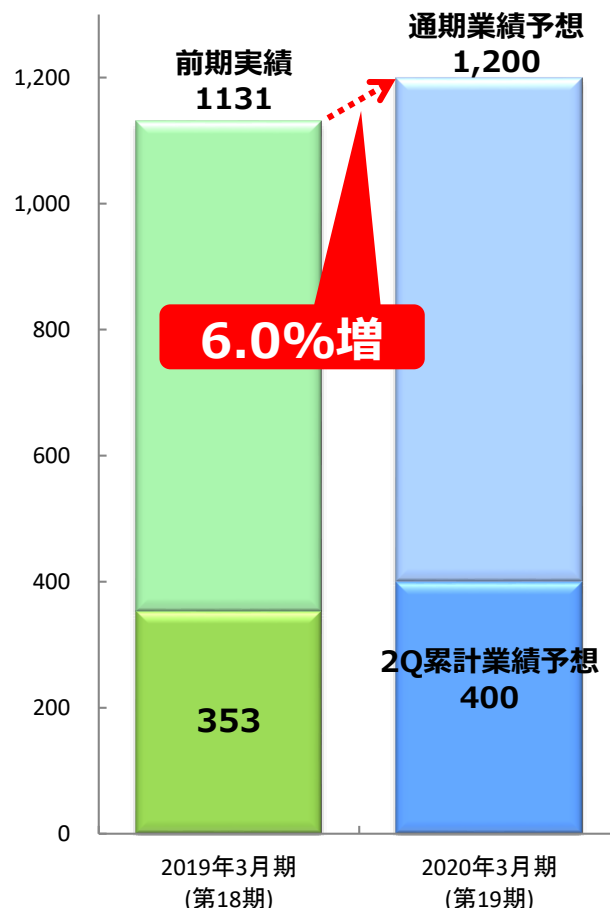
売上高

（百万円）



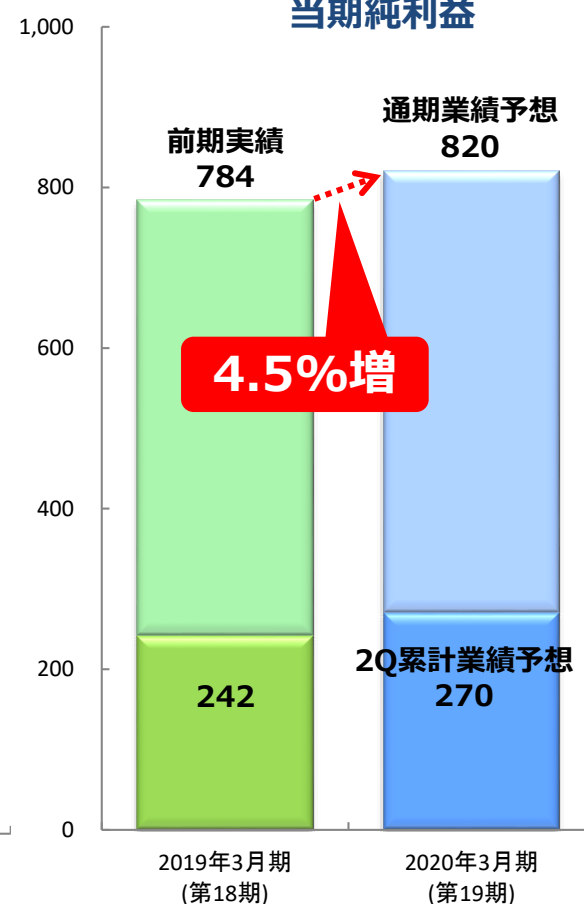
経常利益

（百万円）



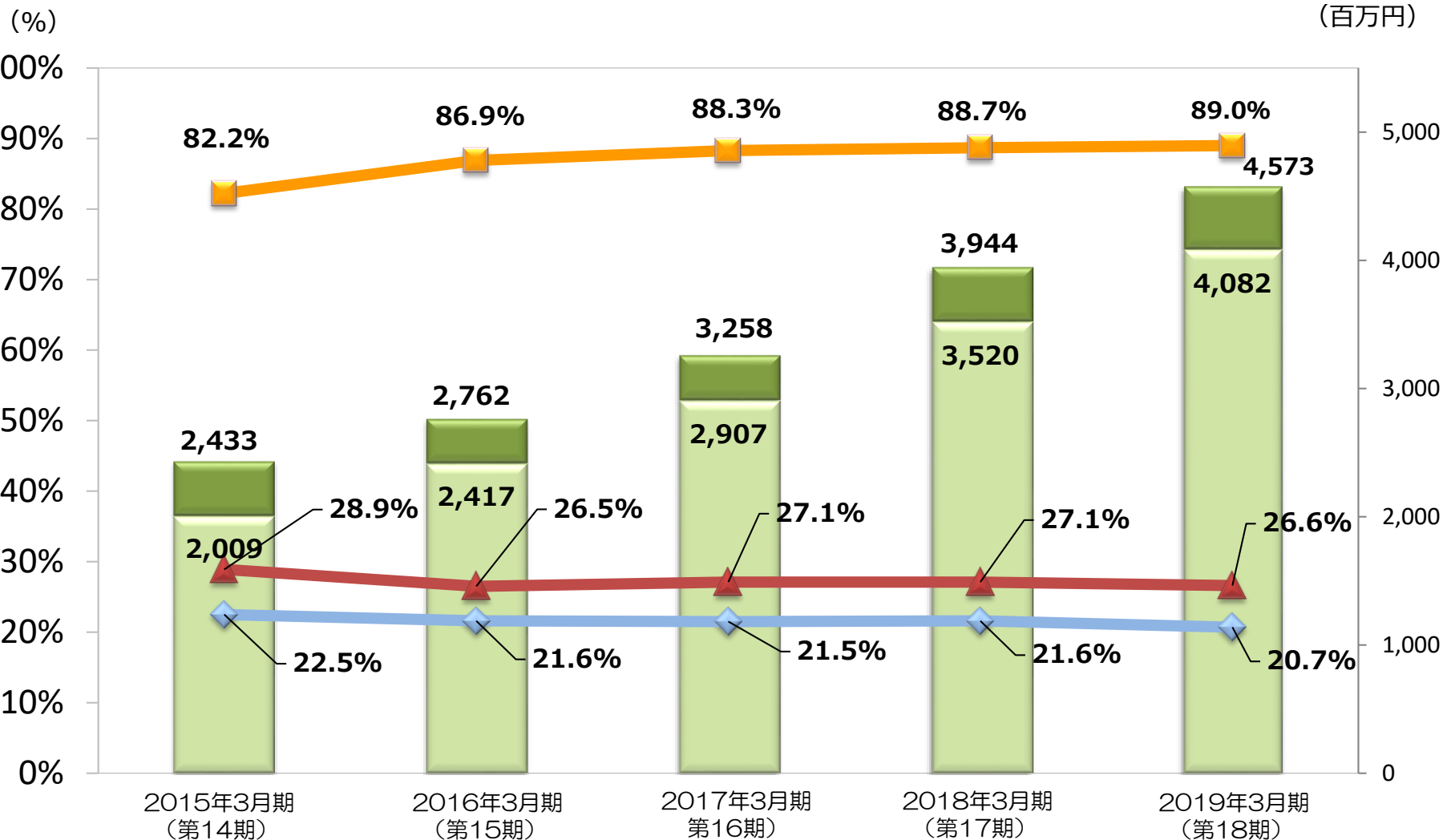
親会社株主に帰属する当期純利益

（百万円）



資本状況(ROE及びROA等)の推移

■ + ■ 総資産（連結）
 ■ 純資産額（連結）
 ◆ ROE（自己資本当期純利益率）
 ▲ ROA（総資産経常利益率）
 ■ 自己資本比率



本資料お取り扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ

管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp